

20170916

平成29(2017)年度  
山口県立大学大学院  
オープンキャンパス



国際文化化学研究科  
国際文化化学専攻  
修士課程

# 国際文化学研究科国際文化学専攻の 教育・研究の理念と目標

国際文化学研究科国際文化学専攻は  
人間を尊重し  
社会の国際化に対応できる能力とともに  
生活者の視点に立って  
地域の歴史・文化を継承したり  
新たに発掘・創造できる  
能力を備えた人材の育成を目標としています。



# 3つのポリシーとは

大学・大学院の

①入学

②修学(教育)

③卒業・修了

(学士号・修士号・博士号の授与)

に関する

3つの方針(ポリシー)のこと。

① 入学者受け入れ方針

アドミッション・ポリシー

② 教育課程の編成・実施方針

カリキュラム・ポリシー

③ 学位授与方針

ディプロマ・ポリシー



# 入学者受入方針 (アドミツション・ポリシー)

- (1) 文化の多様性や共存への理解と、  
文化の交流・創造を図ろうとする意欲および能力
- (2) グローバルな感覚と異文化への深い関心
- (3) ローカルな歴史・文化を尊重し、そこから学ぼうとする精神
- (4) 自らと異なるものを排除しない精神
- (5) 自らの人生を見つめ、学び直したい、あるいは学び続けたいという意欲

を有する「若い精神と意志の持ち主」の  
入学を歓迎します!(^^)!





# 教育課程の編成・実施方針 (カリキュラム・ポリシー)

## ① 共通科目

国際文化学研究科と健康福祉学研究科に  
共通の科目

## ② 基礎科目

国際文化学研究科において研究するための  
基礎を養成する科目

## ③ 専門科目

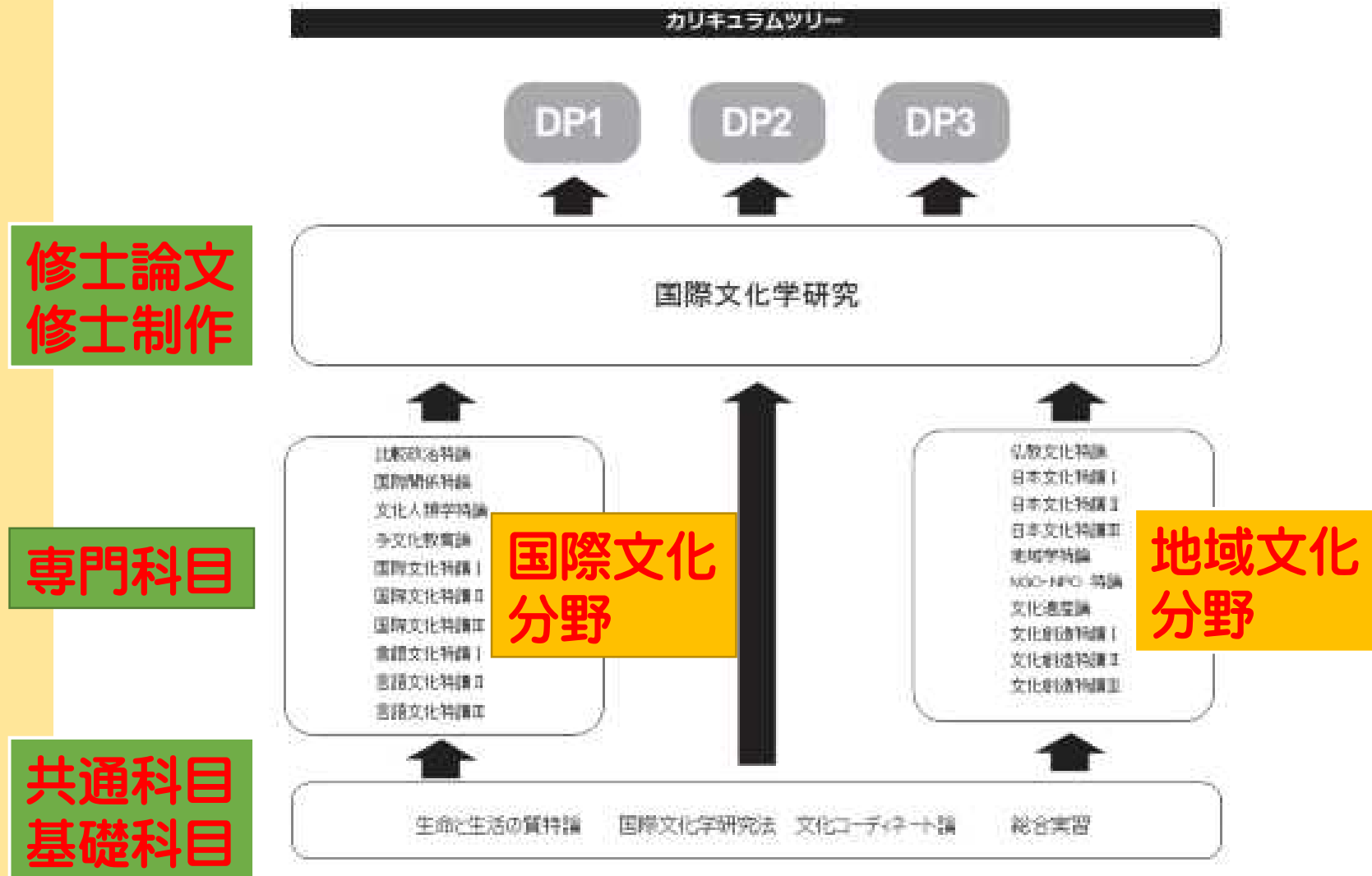
各教員が専門とする分野についての科目

## ④ 特別研究

修士論文・修士制作



# カリキュラムツリー





# 学位授与方針 (タイプロマ・ポリシー)

## 【知識】(DP1)

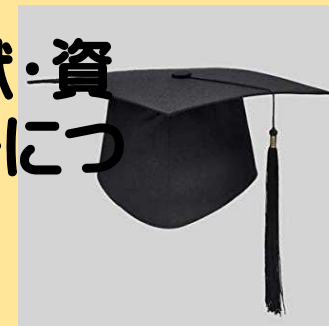
文化の多様性を踏まえて、自らの生きる場での課題を発見・解決できる基本となるものの見方を身につけている。

## 【態度】(DP2)

異なる価値観の共存につながる寛容さを身につけ、常に違いを超えて交流し理解しあおうとする態度を身につけている。

## 【技術】(DP3)

膨大な情報の波に飲まれず、自らの必要とする文献・資料を適確に収集して創造的に発信していく技術を身につけている。





# 研究している主な大学院生たち



## 学内からの進学者（推薦入学者）

国際文化学部国際文化学科・文化創造学科での学習・研究内容をさらに学術的・専門的に発展させようと志す人たち

## 社会人

現在の職業について学術的な裏付けをいっそう豊かにし、今後の仕事においていっそうの成果を達成しようと志す人たち  
退職後、今まで時間の関係でできなかった学問を実現しようと志す人たち

## 中国の学術交流協定大学からの推薦入学者

言葉の壁を乗り越えて、日本において、日本と中国との文化や制度の比較、日本の文化や歴史を研究しようと志す人たち

など  
年齢、性別、国籍  
興味、関心、研究対象  
バラエティー豊かな人材が  
切磋琢磨して  
研究に専念しています！



国際文化化学研究科には  
院生専用の共同研究室があります。  
各院生に個別のデスクもあります。

教員がそこに立ち入ることは  
ほとんどありませんが

そこでは

先のスライドで紹介した

多様な属性の研究者によって

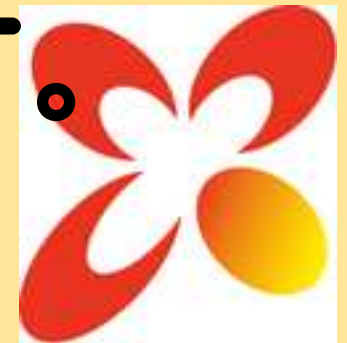
教員への評判も含めて(@\_@)

知的好奇心に満ちたサロンが

形成されていることでしょう へ(^o^)/



近年の**修士論文・修士制作**の  
テーマは、次のように  
少なくとも**二つの柱**を設定し  
**複眼的**になされています。



**地域（エリア）**と**課題**

# 近年の修士論文のテーマ



- キリスト教受容過程における**日本文化**の特質
- 高等学校における**地域素材**を活用した新しい**日本史授業**モデルに関する研究
- 韓国**における**国際理解教育**の現状と課題 - 慶尚南道の中学校を中心に
- 『太平広記』「狐部」所収の小説に描かれた「**狐**」の姿について
- 古写真**に見る**山東省**の景観と生活の変容 - 「**亞東印画譜**」を中心に
- 青島市**における**環境教育**の可能性 - 日本の環境教育の事例をもとに
- 中国朝鮮族**の**民族教育**について - 吉林省長春市朝鮮学校の教育課題について
- 中国**における**留学生教育**の現状と課題 - 山東省に留学した日本人留学生を中心に -
- 山口県**における**青少年海外派遣事業**を通じた異文化理解促進のための一考察
- ソリューションフォーカスによる**中小企業**における**組織開発**の効果分析
- 国際観光**を活かした**地域振興策**に関する研究 - 山東省との観光連携を中心に

# 近年の修士制作のテーマ

- 生活や習慣の中にある文化から発想した**プロダクトデザイン**
- 地域資源を活用した**メディア表現研究**
- 地域資源を活かした**アーツ・マネジメント**の実践的研究
  - 山口市徳地「アウリンコ・徳地・タロ」プロジェクトを事例として
- 地域資源でつながる**服飾デザイン**の実践的研究
  - 山口徳地における袴パンツプロジェクトを事例として
- 「帰森(きしん)」
  - 地域資源と植物素材を用いたニットによる**服飾造形**と空間構成
- 心境を探求する**プロダクトデザイン**の実践的研究



このような多様な  
研究を  
指導する



教育研究態勢が  
国際文化学研究科には  
完備しています(^\_^)/

## 人文学分野

宗教学・印度哲学・仏教学  
教育学・異文化教育理解  
日本史学  
日本中世文学・日本芸能論  
日本近世文学  
中国文学  
韓国語学  
英語学

## 社会学分野

文化人類学  
中国社会論  
韓国社会論  
アメリカ社会論  
比較政治論  
国際関係論  
国際経済論

## 芸術デザイン学分野

服飾文化論  
デザイン文化論  
Webデザイン論



## 国際文化系分野

国際関係論  
国際経済論  
中国社会学  
韓国社会学  
アメリカ社会学  
文化人類学  
比較政治論  
教育学・異文化教育理解  
中国文学  
韓国語学  
英語学

## 地域文化系分野

日本史学  
日本中世文学・  
日本芸能論  
日本近世文学  
服飾文化論  
デザイン文化論  
Webデザイン論  
宗教学・印度哲学・  
仏教学



# 山口国際文化化学研究会

本学では、**本研究科主催**による  
山口国際文化化学研究会を  
原則として

毎月第四水曜日に開催しています。

ここには、**教員、院生、修了生、地域の方**などが  
集い、研究発表、討論が行われています。

**山口の「知のサロン」**となっています。

現時点で、**通算90回**となっております。

**参加自由です。参加費も無料です(^)/~~~~**

**開催予定は、本学ウェブサイトをご覧ください。**



# 最近の山口国際文化化学研究会

## 平成28年度

- **地域とメディアデザイン** - GISの視点から - 倉田研二 (本研究科准教授)
- **地域・大学連携**による地域づくりを目指して～**木梨邸**の事例を中心に～  
齊藤理 (本研究科教授)
- **イソップ物語「北風と太陽」とソリューションフォーカス** - **職場にプラスの変化**をもたらす仕組み - (国際文化化学研究科2年 松永朋子)
- **8300枚の棚田を再生する**移住者、通い人と地元民 - 岡山県美作市の**NPO**法人英田上山棚田団の試み - (国際文化化学研究科2年 原田章子)
- **現代典故論** で? (本研究科教授 川口喜治)

## 平成29年度

- **プロダクトデザインと「～らしさ」** - 無意識に選ばれている「**モノのアイコン**」について (本研究科教授 山口光)
- **付加価値を担うことばの研究の新構想** (本研究科教授 西田光一)
- **江戸時代後期**における**松坂商人**の文学活動 (本研究科准教授 菱岡憲司)

受験につきましては、

**学生募集要項**や

本学ウェブサイト

をご覧ください。



不明の点がございましたら

遠慮なく、お尋ね下さい。

大学院の研究におきましては  
指導教員との学問的関係が  
重要になります。

受験をお考えの皆様には  
是非とも

**受験前に**

ご自身の興味・関心のある  
研究分野の教員への  
ご相談をなされることを  
強くお勧め致します。



本大学院では、隔年交替による  
講義の**昼夜間開講**を実施しています。  
昼間の受講が困難な場合も  
**夜間の講義を受講することができます。**

一般の修学年限2年で  
修了が困難な方に対して  
**長期履修制度**を設けています。



詳しくは、  
学生募集要項・本学ウェブサイトをご  
覧下さい。

皆様の  
ご入学を  
お待ちしております

